



たかお ちよこ

伊賀びと(伊賀市) 鷹尾 千代子さん(56)河合小学校区放課後児童クラブ「ポップコーン」代表

ピカピカの新1年生を迎えて丸1か月。「早く児童クラブの生活にも慣れてほしい」と心を砕いている。

地元出身の鷹尾さんは名古屋市内の短大で保育士の資格を取得し、卒業後は旧阿山町役場に就職した。4年間は旧町立保育所に保育士として働いたが、その後は役場の保健福祉関連部署に勤務。2年前に退職して、「ポップコーン」代表に就いた。

児童クラブには小学1年生から4年生までの約20人が通っている。子どもたちは児童クラブで宿題を済ませ、仲間とおやつや遊びを楽しみ、迎えに来る保護者と一緒に帰宅する。今年は新入生が8人も入ったことから、指導員は鷹尾さんを含め3人体制で臨んでいる。

長年役場勤めだったため、自分が子育てした時代と今の親子関係の違いに戸惑うことも多々あるという。

「現実とゲームの世界の違いが理解できない子や、友だちに手加減できない子が多くて気がかり」と鷹尾さん。「相手の気持ちになって行動するようにと平日頃から子どもたちに諭しています。保護者の方たちも親子の会話やふれあいを大切にしてほしい」とアドバイス。

数年前に仕事のストレスから脳梗塞で倒れ、今も定期診断が欠かせない身。新入生を迎え気の抜けない毎日だが、午前は畑仕事、午後は児童クラブの仕事と、現在の充実した暮らしに満足している。



くましる てつお

伊賀びと(名張市) 熊代 哲夫さん(57) モア・クラブ副会長

障がいのある人もない人も対等な立場で、“より豊かに、より楽しく”活動することを目的にした「モア・クラブ」(澤正人会長)がスタートして12年。月4回の「おしゃべり会」を中心に、「会員が無理なく楽しめる会」を継続したいと、ボランティア会員を募っている。



熊代さんは大学で日本史を専攻。卒業後しばらくして三重県内の小中学校で事務職に就いたが、35歳で名張市内の小学校教諭になった。「子ども自身が伸びていく力を引き出すのが教師の務め」と、教師の仕事に全力投球していたが、体調を崩して1年前に教職を辞した。21年間の教師生活のうち11年間は、小学校で障がい児学級を担当した。障がい児学級では密度の濃い指導で、ゆっくりながら子どもに着実に力がついていくのを実感し、やりがいを感じていた。

モア・クラブがスタートしたのは、丁度障がい児学級の担任になった頃で、障がい者をサポートしながら自分も楽しい時間を過ごす主旨に賛同し、創設時から活動を始めた。正会員は15歳以上の障がい者余暇支援に関心のあるボランティアと、障がいのある人(15歳未満は準会員)。最盛期には80人近くいた会員は現在半分近くに減っていることから、「一人でも多くの人に会員になってほしい。特にボランティアが足りないので、この紙面でも募集記事を載せてもらっている」と熊代さん。「おしゃべり会」は名張市と伊賀市で月2回ずつ開催。そのほかカラオケ、バンド演奏、ボーリング、お花見などのお楽しみ行事も開いている。

なんでもかんでも情報BOX

モア・クラブ友達ボランティア募集

私たちMORE CLUB(モア・クラブ)は、障がいがあってもなくてもみんなで仲良く遊ぼうという目的で1994年にできたグループです。

主な活動は、次の通りです。

おしゃべり会・・・月2回ただ集まって世間話などをするだけ。でも、それが肩のこらないお互いの交流ができて楽しいのです。

*名張で・・・第2・4金曜日夜6時～9時

場所は、名張市総合福祉センターふれあい

*上野で・・・第1・3金曜日夜6時～9時

場所は、身体障害者デイサービスセンター「かしの木ひろば」

カラオケ・・・月1回第4日曜日昼2時～5時

場所は、名張の「うたってけランド」

そのほか、楽器の練習やボーリング、お花見などをしてみんなでそれぞれの余暇を楽しんでいます。

あなたも参加してみませんか。

連絡先

熊代(くましろ)電話 0595(65)7140

太陽作業所チャリティーバザー

【日時】6月11日(日)10:00～14:00

【場所】上野ふれあいプラザ3階中会議室

【内容】食器・日用品・クッキー・農産物などの販売

バザー用品を集めています。ご家庭に眠っている贈答品・日用品・食品・衣類など、未使用の品物がございましたらお寄せください。6月8日(木)までにお電話いただければお宅まで取りに伺います。なお、当施設ではアルミ缶・段ボール回収も行っておりますのでご協力をお願いいたします。

【主催】地域家族会(はくほう会)

【共催】社会福祉法人 伊賀昂会 太陽作業所

【問い合わせ先・拠出先】太陽作業所 伊賀市四十九町2107
電話 0595(24)7897

伊賀の「協働塾」 平成17年度報告書を配付

「協働塾」は、市民やNPOなどの団体と県・市職員が、企画段階から情報交換し施策形成していく場として設けたもので、役割分担を明確にしつつ、市民の主体性をもった地域づくりに取り組もうとした試みです。

伊賀地域で活動する市民やNPOなどの団体から、協働で解決に取り組むべき地域課題についての提案(協働テーマ)を募集し、平成17年度は、「多文化共生づくり協働塾」、「伊賀線協働塾」、「住民自治のまちづくり塾」がそれぞれのテーマで取り組みを行いました。

この協働塾の報告書をご希望の方は下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】伊賀県民センター生活課

電話0595(24)8137 FAX0595(24)8010

E-mail gkenmin@pref.mie.jp

要約筆記奉仕員養成講座受講生募集

『要約筆記奉仕員』とは、耳が不自由な方のコミュニケーションを筆記によりお手伝いする方のことです。要約筆記の方法には、ノート等に直接書き込む方法や、パソコンを使う方法、また一定の人数がいる場合にはOHPに映し出す方法等があります。

今年度、県の主催により、『要約筆記奉仕員』養成講座が伊賀市を会場に7月から半年間の予定で計画されています。ついては、広く市民の皆さんに『要約筆記奉仕員』のことを知っていただきたく、事前講座(紹介講座)を次の日程で開催いたしますので、要約筆記に興味のある方や聴覚障がいのため要約筆記をご利用になりたい方など、この機会を是非ご利用ください。(申込は不要)

【日時】6月4日(日)10:00～16:00

【場所】阿山保健福祉センターホール(伊賀市馬場)

昼食は、各自でご準備ください。

ギャラリー「楽」のご案内

福山光三写真展

人物・生物・風景

【日時】5月19日(金)10:00～17:00

5月20日(土)10:00～17:00

5月21日(日)10:00～16:00

ギャラリー「楽」名張市松崎町1435

FAX 0595(63)2212

携帯 090(3389)4353 山下

伊賀男女(みんな)できらめく委員会 メンバー募集!

みんなが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくりに参加しませんか?

伊賀男女(みんな)できらめく委員会では、家庭や地域など日々の生活や、社会のさまざまな場面で、男女が均等にかかわり、責任を分かち合える男女共同参画社会について、公募により参加いただいた方々と、伊賀市、名張市、及び県の担当者がともに事業を企画実施しています。

平成17年度は、「DV防止セミナー」や「男の自炊教室」などを実施しました。

伊賀地域の男女共同参画社会について、一緒に考え行動してみませんか?

詳しくは下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】伊賀県民センター生活課

電話0595(24)8137 FAX0595(24)8010

E-mail gkenmin@pref.mie.jp

学童の登下校時における防犯活動に対する支援

近年、全国的に通学途中の児童を狙った犯罪など、子どもが犠牲になる痛ましい残虐な事件が多発しております。

こうした中、PTA・自治会・民生委員児童委員・地区社協など多様な組織・団体により子どもの安全確保のため様々な取り組みが行われています。

三重県共同募金会では、地域における子どもの見守り活動を支援するためボランティア活動として取り込まれる団体(グループ)に対し特別配分を行います。

【配分対象】

学童の登下校時における防犯活動に対する支援、地域で子どもを見守る取り組みを行う団体(グループ)、約200団体

【配分事業】(平成18年度事業)

・防犯活動に要する費用(例:パトロール員の腕章、タスキ、防犯ブザー等活動資材)

・防犯教室や地域関係者との会議費用等(ただし、会議の飲食代が主体になるものは該当しません)

上記事業について平成18年度4月1日から適用する。

【配分額】1団体当たり・・・3万円以内

【募集締切】6月30日(金)まで

【申請書取得方法】

三重県共同募金会ホームページから取得できます。

<http://www.miewel.or.jp/bokin/index.html>

社会福祉協議会共同募金会窓口で取得できます。

【申請書提出先】最寄りの社会福祉協議会共同募金会窓口

三重県防災ボランティアコーディネーター養成講座受講生募集

【募集人数】30名程度

【受講資格】

・平常時の防災啓発、災害時のボランティア(コーディネート)活動に関心があり、ボランティアコーディネーターとして活動する意欲のある方

・三重県内に在住、または通勤・通学しており、三重県内各地で開催される養成講座(年4回)に出席する意欲のある方

・開講に先立って行われるオリエンテーションに参加して、自身の思いを発言し、また、小論文(800字程度)を提出する意欲のある方

【受講までの流れ】

(1)オリエンテーション(県下5会場で開催)

伊賀地区:5月14日(日)19:00~

上野ふれあいプラザ3階中会議室

(2)小論文・申込用紙を提出(5月26日締切)

応募動機や、防災について自分にできること、受講してやってみたいことを800字程度で提出

(3)選考(6月中旬 選考結果発表)

【申込・問い合わせ先】

三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会

三重県防災危機管理部 防災対策室 防災グループ

電話 059(224)2189 FAX 059(224)2199

メール itouy16@pref.mie.jp

年末恒例「第九」参加者募集

「第九」は人を元気にしてくれます。

聴くよりも歌うほうが、ずっと感動が大きいです!!

さあ、あなたも一緒に歌いませんか?

【演奏会】2006年12月17日(日)

名張市青少年センター

【指導者】上ノ坊 正明

【特別指導者】清原 浩斗

(大阪1万人の第九合唱指導者)

【会費】月額 2500円

【練習日】5月13日(土)、5月20日(土)、6月3日(土)、以降、毎週土曜日(月3~4回)

19:30~21:30

【練習場】名張公民館

ドイツ語はカタカナのふりがな付き、練習用のテープも用意します。

体験練習参加も歓迎します。覗いてみてください。

大阪城ホールの「1万人の第九」も参加する事ができます(抽選)。

【申込・問い合わせ先】

名張第九を歌う会

(代表)松岡寿夫

電話・FAX 0595(68)1777

メール hmatu@e-net.or.jp

(副代表)玉置 和雄

電話 0595(68)1394

メール k.tamaki@asint.jp



ライブキャンプ春編

忍者お花見

ライブの巻

4/1~5/7 期間中の毎土・日・祝

ファイナル 目指して ファイト!!

上野公園内 愛間亭前広場 午後1時~4時

出演者大募集!

バンド、コーラス、邦楽、ダンス、お笑い、一発芸 etc.

なんでも かんでも ジャンル不問。

音家ライブもお問い合わせ下さい。

青少年の居場所事業

音家 OTOYA presents

ライブキャンプ実行委員会

★お問い合わせ 090-5866-0738

伊賀び〜と紙面相乗りコーナー

名張 子どもの本の連絡会



交流会のお知らせ

勉強会

「紙芝居を楽しもう」

5月27日(土) 午後 1:00~3:00 (予定)

名張市立図書館 2階視聴覚室

5月の交流会は、橋村先生の紙芝居講座の後なので紙芝居の勉強会を行います。

色々な紙芝居を見て楽しみましょう!

たくさんのご参加をお待ちしています。

尚、6月は勉強会「紙芝居をやってみよう」を

予定しています。

上記の事柄は予定変更のことがあります。

詳しくは連絡会のHPをご覧ください。

名張 子どもの本の連絡会 HP [なばりっこ連](http://www.nava21.ne.jp/~ehon)

<http://www.nava21.ne.jp/~ehon>

代表 高見 紀久代 TEL(68)0226

e-mail ehon@nava21.ne.jp

いが移動送迎連絡会通信

『いが移動送迎連絡会』とは?

道路運送法の改正に伴い、今まで行ってきた移送サービスが現状のままでは運営できなくなりました。

その中で全国各地で福祉有償運送等の必要性を検討したり、認可をする運営協議会ができてきました。伊賀市においても名張市と伊賀市をひとつの圏域として運営協議会が立ち上がっています。

この福祉有償運送に関する事は、運営協議会が全ての決定権を有しています。そこで運営協議会に対して提言や進言を行ったり、安全安心を担保するための独自の講習会やお互いの情報収集の機会を提供しています。現在は伊賀市の担当課長、有志の市会議員、社協の担当者、NPO団体などが出席して意見交換や情報交換をしています。

【今後のいが移動送迎連絡会のご案内】

【日時】5月12日(金) 19:00~21:00

【場所】上野ふれあいプラザ3階ボランティア活動室

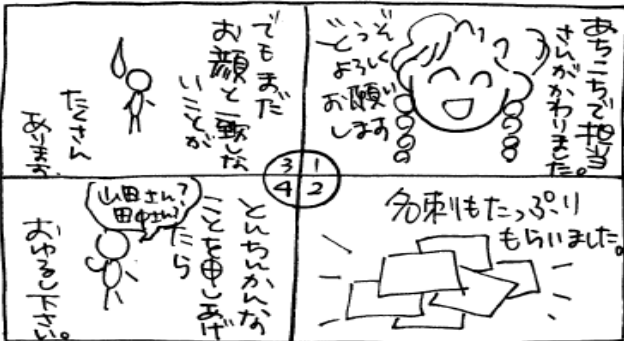
【日時】6月13日(火) 19:00~21:00

【場所】上野ふれあいプラザ3階ボランティア活動室

【問い合わせ先】伊賀市社協伊賀支所

電話 0595(45)1012 (林田)

W.T.Aまちづくりセンター



三重県生活支援 NPO室が募集する NPOからの協働事業提案の募集がはじまります。
今年度は自治会等もふくんで募集します。くわしくはNPO室のHPをダウンロードして下さい!
<http://www1.mienpa.net/npot>

住居自治協議会への18年度に入り伊賀市の本庁と上野支所が一系画にまとめたことで、おた担当さんも変わりましたので、おたのために取りくみをお願いするつもりです。5月末から6月15日頃まで、交流会もしたいです。住居自治のまちづくり塾の3校をそれぞれに生かしていきたいです。

〒518-0867 伊賀市上野福居町3317 イ表 中盛 3F
ブログ → <http://blog.goo.ne.jp/w-t-a-matiseu/>

伊賀市市民活動支援センター

5月です。先月も、交流スペースのご活用や印刷にと、ご利用いただき、ありがとうございます。

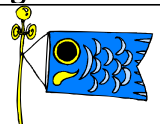
本年1月末にブログを開設して情報提供を広げております。3月末までのアクセスIP総数が1,849回、閲覧総数は6,234回と、多くの方々に見ていただいていることをご報告させていただきます。

本年度は、このブログを各住民自治協議会やNPOなどのリンク広場として、皆様に情報提供していきたいと考えております。ご協力をお願いいたします。

募集しています。
支援センターのメールボックスと保管ロッカーの利用者を募集しております。ご利用期間は、平成18年4月1日から平成19年3月31日までの1年間です。ご利用料金は無料となっております。ご希望の方はご連絡ください。ご利用をお待ちしております。(応募の詳細は、伊賀市のホームページをご覧ください。)

〒518-1395 伊賀市馬場1128番地多目的集会施設内
TEL: 0595-43-1135 (代表) FAX: 0595-43-2205
E-mail: igasksc@ict.ne.jp
ホームページ: <http://www.city.iga.jp>
ブログアドレス <http://blog.goo.ne.jp/igasksc/>

休館日: 月曜・年末年始(臨時休館あり)
開館時間: 午前9時から午後9時
(ただし、午後5時以降は前日予約が必要)



NPO法人ユニバーサルデザイン同夢

「同夢」@ユニバーサルデザイン専門の市民活動団体です・<http://www.doumu.net>

特定非営利活動法人設立記念 ユニバーサルデザインセミナー

日時：5月21日(日) 午後1時30分～4時

場所：伊賀市ゆめぼりすセンター 2階 大会議室

(住所 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の4 TEL:22-0310)

記念講演 「ユニバーサル・デザインとまちづくり」

講師 川内 美彦 氏

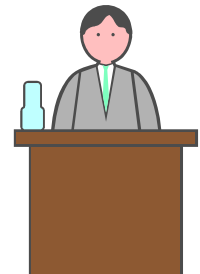
(一級建築士事務所アクセスプロジェクト主宰)

参加費：500円(資料代)

申込み：必要(メール son@doumu.net FAX 23-9513) 定員50名になり次第締切り

後援：三重県健康福祉部地域福祉室ユニバーサルデザイングループ・伊賀市・名張市

伊賀市で28番目に誕生したNPO法人です。どうぞ、よろしくお願いします。



- ・4月3日(月)NPO法人設立 ・会社法人等番号 1902-05-000723
- ・伊賀事務所 〒518-0823 伊賀市四十九町1278-26 TEL&FAX (23)9513
- ・名張事務所 〒518-0419 名張市富貴ヶ丘6番町234番地 TEL (64)4010

えこころいすとマガジン 伊賀び〜と版

「芸術交流活性グループえこころ倶楽部」

【イベント・展覧会をお知らせ下さい】

イベントシーズンです、いろんな案内がやってきます。可能な限りそれらの情報を、メールマガジンに再配信しています。案内もいろんなところで見聞きしてようやく目に付くというもの。情報の投稿は「案内状」「FAX」「メール」「HPへの投稿」がありますが、HPへの投稿が一番便利です！

<http://www.g-ring.com/cgi-bin/event123/event.cgi>

書き込めない場合は以下の内容で、メール、FAX下さいね！

<以下、わかりやすい情報発信のポイントです> 私どもへの連絡以外にも使えそうですね！

投稿者・・・あなたのお名前を。 / E-mail・・・問合せ先メールアドレスを。
 HP・・・関連のHPアドレスを。 / 催し名・・・イベントの名称をお願いします。
 催し種別・・・展覧会？フリマ？ギャラリー？ / 日時・・・開催日を、休日があればそれも。
 料金・・・入場料・参加費が必要ですか？ / 開催会場・・・会場名、住所も。
 内容・・・イベントの内容、PRを。 / 問い合わせ先・・・主催者、会場への連絡先です。
 問い合わせ電話・・・主催者、会場への電話番号を。

【問い合わせ&情報提供 = FAXかMAILにて】*電話でのアクセスはご遠慮いただいています。

FAX: 0595-52-3845 MAIL: webmaster@g-ring.com

HPにも情報満載。是非アクセスを！ <http://www.g-ring.com/index2.htm>

はい！こちら
伊賀県民センター
NPO担当
福西です。

電話 0595(24)8137
FAX 0595(24)8010
メール gseikan@pref.mie.jp



まずは自己紹介から。

この4月の人事異動により、新しくNPO担当となった「福西秀文(ふくにしひでふみ)」です。平成3年4月から平成6年3月まで伊賀庁舎で仕事をしていましたが、このたび13年ぶりに県庁を出て、再び伊賀の地に帰ってきました。現在は津に住み名阪を利用して車で通勤していますが、高校を卒業するまでは旧上野市内で過ごし、また、今も両親は伊賀市内で生活しています。伊賀とは切っても切れない繋がりを持っている人間だと思っています。どうかよろしくをお願いします。

さて、最初のお知らせですが、4月の県の組織改正により、NPOの担当部署が次のようになりましたのでよろしくお願い申し上げます。また、これに伴ってファックス番号も変わりましたのでご注意ください。(電話番号は従来と同じです。)

担当部署：伊賀県民センター総務・生活室生活課

住 所：伊賀市四十九町2802番地

電 話：0595(24)8137 FAX 0595(24)8010

市町村合併が進んだ結果、住民に身近な行政サービスの主体は市や町になり、県の役割は、広域自治体として必要な行政課題に対応することや、市や町の行政事務の補完や支援などを中心としたものにシフトしています。この県の役割を十分に果たせるようにするとともに、地域のことは地域で責任を持って決定することができるようにするため、県民局を廃止し、県庁の各部につながつた事務所を地域ごとに配置して、地域において必要とされる県民サービスを、より迅速・的確に提供する体制としました。

県民センターは、このような趣旨に基づいて今年から新たに設けられた事務所の一つであって、生活課は県庁の生活部と直接つながっています。

担当部署の変更等により、皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今回の組織改正の趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。



センター2年目の春は、また新しいボランティアの芽が顔を出しました。新入の障がい学生が市内に下宿をするということで、大学までの付き添いボランティアを始めました。障がい者の外出支援については、制度の改正などいろいろと難しくもあるのですが、そこはぶらっとなアイデアで「友達100人作戦」となりました(みなさんに感謝(∩_∩))。センターの学生スタッフと利用学生が中心になりながら、徐々に学生ボランティアも

登録者数を増やしています。いま、ボランティアの中での課題は<雨対策>。センター通信のクローバーのように気持ちよくしのげる方法を模索中です。そういえば、アメリカのADA法(障がいを持つアメリカ人法)だって、最初は、カリフォルニア大学に入学した重度障がい学生のアテンダント(付き添い)ボランティアからスタートしたんですね。障がい学生支援を通じて、障がい者の<自立>を考える時、この国の方向性も気になります。新しい芽の成長を楽しみながら一緒に話し合っていきたいと思っています。(社会福祉学部 板井正斉)

私のお気に入り 映画「県庁の星」を観て

3月から観たいと思っていた映画「県庁の星」が、たまたま上映時間が夜から朝に変わったので4月16日、家内とジストシネマ伊賀上野へと向かう。着いたのは10時過ぎで始まっていた。

東宝の映画で監督は西谷弘、県庁のキャリア公務員である野村が県の企画した民間との交流で派遣される7人の中へ選ばれ、派遣先のスーパー「満天堂」で働いているパートの二宮とのミラクルな改革を、時には「しみり」、また、面白く観られた。

エリートを自認する主役の野村(織田裕二)が、二宮(柴咲コウ)に指導されながら、職場を点々と回るがうまく行かず居場所がなくなり最終的に厨房へ追いやられ、厨房の作業員を2班に分けての弁当づくり合戦を始めたが大失敗。そこへ日頃から杜撰な満天堂の経営や消防管理の危機もからみ、スーパーの存続も危なくなるところで、今迄野村の主張していた改革が実行され始め、実を結んできて、無事検査も通過し、ハッピーエンドとなったドラマであるが、その間には、現代の世相をも交えて色々と感じさせられたことも多く描かれていた。

(伊賀市猿野 堀内 晶)

伊賀び〜と編集委員会では、あなたのお気に入りの何かを募集しています。映画、本、食べ物、名所、こだわり、なんでも結構です。自分ひとりだけでしまっておかず、誰かに伝えたいお気に入りをご投稿ください。原稿は600字以内をお願いします。伊賀び〜と編集委員会(〒518-0869 伊賀市上野中町2976番地1上野ふれあいプラザ3階 E-mail ue-vac@hanzou.or.jp)までメール又は原稿用紙で送ってください。

豊浜紀代子の伊賀の伝説(第九話)

“櫛(しきみ)塚”

喰代(旧友生村喰代)の皆内に「櫛塚」あるいは「式部塚」と呼ばれている古井戸がある。南北朝の頃、北面の武士として輪番勤仕(つまり御所の警固役)をしていた百地三太夫が、官女の式部と恋仲になり、自分の後を追って、友生村喰代の皆まで来るように約束して帰郷した。約束の日百地三太夫は、式部を迎えに鳥ヶ原まで行ったが、行きちがって、式部が一人で百地家へ先着した。

三太夫の本妻は、式部を見てその美しさに嫉妬し、郎党の石川五右衛門を誘惑して、

「そなたのことを、私は恋していた。だが、夫ある身ではどうにもならぬ。三太夫殿が都の女をこの家に連れて来たことで、私も覚悟を決めた。今、この百地家にある軍用金を持って、ここから二人して逃げよう。そのためにはあの式部とやら言う女は邪魔者、そなた式部を殺してはくれぬか」

「殺してその後始末はどうなさいます?」

「なあに古井戸へでも投げ込んでおけば良い」

五右衛門は、もともと百地家の軍用金が目的であったので、式部を殺害して古井戸に投げ込み、三太夫の女房も殺して同じ古井戸に投げ込んで、一人で京へと逃れた。

三太夫は帰宅後、式部が京から連れて来た白犬の導きで、真実を知り、古井戸をつぶして、塚として妻妾二人を葬った。

その後、墓の上に櫛が生え、やがて大樹となったので、櫛塚と呼ばれるようになったと伝えられている。

今でも当地には、浮気を封じるためには、クシをこの塚に捧げると浮気が直るといふ信仰があり、樹下の墓前にクシが備えられているのが、ときどき見られる。

櫛塚のあたりは、樹木うつそうつとしているが、一枝たりとも手折れば、祟りがあると言っているので、今日でも手折る人はいないらしいと言われている。



室地聡の一刀両断世相“斬り”(拾四)

「コバン」って何だんねん?

上野は丸之内交差点の交番が少し奥に位置が変わって新装開店?した。色気もしゃしゃらもない以前のコンクリートの四角い建物が伝統的な日本家屋に模して作られた建物になってまことにけっこう、と言いたいのだが、やっぱりいちやもんをつけてしまうのが“室地流”。

目にも鮮やかな白壁の(それも二ヶ所に亘っての)「KOBAN」なる黒文字。あれどうしたことやねん。貧乏人だからすぐに金のことを考えてしまうが、あの文字(5文字×2箇所=10文字)を白壁に貼り付けるのにどう控えめに考えても数万の金はかかっているはず。

意味のある支出なら文句をつけたりはしないが、「KOBAN」にいかなる意味があるというのか、考えてみよう。まず誰のためのものか。一般日本人を対象にしたものとはちょっと考えにくい。文盲率ほぼゼロパーセントの日本人ならなにもわざわざ「KOBAN」と書いていただかなくても、「丸之内交番」で十分分かるはず。日本人相手でなければ外国人相手ということになるが、「KOBAN」じゃWhat is KOBAN?と肩を竦められるのがオチ。英米人相手ならそうかもしれないが、この辺はペルー、ブラジルなどの中南米人が多いからそれでいいんじゃない?なんていうのは単なるこじつけにしか過ぎない。

日本人対象でも外国人相手でもないとなると一体全体何さま相手のものなのか。普段あっちでもこっちでも噛み付いてばかりいるけれど、たまには“親切心”を奮い起こして「KOBAN」の訴求対象、及び「KOBAN」の意味を考えてみよう。

そうか、「ローマ字教育の一環」なのか。未来を担う少年少女が、国際人として育っていくためにはローマ字ぐらいはきちんと読み書きできねばならぬ。「国際人の資格として“ローマ字”の読み書きは必須の条件でっか?」。「これこれ、そのような半畳は入れるものではない。こっちは真面目にその意味を探求中なのだから・・・」。「真面目かどうかは兎も角、ローマ字が自由自在に使えても、国際人として通用するとは思えまへんなあ。」「・・・」「それにKOBANではローマ字教育にもならんのとちゃいまっか。コーバンやったらOを長母音にせなおかしいし、コウバンならKOUBANでんがな」

というわけで、どう鼻屑(ひいき)目に見ようとしても、“KOBAN”の訴求対象とこの文字を掲げた意味は不明のままである。もっと言えば誰を対象としたものでもないということになる。

「訴求対象がどうのこうのとややこしいことを言うな。お上のやることには間違いはない。それにこのローマ字は前の交差点にあった時からそうだったので、やはり前例は尊重せねばならぬ。」前例を尊重して意味のないものにまで金をかけるほど国家財政、県財政、自治体財政・・・は豊かなのでしょうか。トンと解せませぬ。

金の話は兎も角、KOBANは伊賀上野の恥でっせ。せっかくの白壁に金を使って“恥”をでかでかと表示する、こういうことを決める連中(誰がどうやって決めたのか、無性に知りたい!)の頭脳構造は一体全体どうなっているのか、脳生理学者でなくても知りたくなるというものです。

なおKOBANはここだけの、また三重県だけのことではなく、あちらこちらで見かけるといことだからそうすると、国辱ものということになる。国の恥という国家規模の話になれば、改革改革と大風呂敷広げ、ミンミン蝉でもあるまいに“民”“民”言いながら、もっとも肝心・要の公務員の意識改革をなおざりにしてきた小泉純一郎という人の責任、やろな。いや、そうに違いない。かくゆう小生も、MUROJISOってなる訳か。ムロジソってどんな紫蘇やねん?・・・残念!



なぎの「ぷらっと会議」通信



先月のぷらっと会議は、県民局の竹田さんが異動されることが分かったので、新しく異動してこられた福西さんにもさっそく参加していただき、13名ほどが参加して親睦を深めるための集まりとなりました。他にも新メンバーさんも加わり、気分も新たに取り組んでいかねば、といったところです。県や市をはじめとする組織の編成もあり、また少しずつどんなに変わったのかを感じつつ、日々のコーディネートに生かしていけるようなネットワークづくりに取り組みたいです。

次回ぷらっと会議のご案内

5月のぷらっと会議

【日時】5月10日(水) 18:30~21:00

【場所】大山田福祉センター

6月のぷらっと会議

【日時】6月5日(月) 18:30~21:00

【場所】阿山保健福祉センター

鬼瓦編集長の市民活動時事批評 Part17 「ワークショップって？」



最近、単なる講演会ではなくワークショップ形式のイベントが注目されてきています。特に市民活動やまちづくりの分野においては、ワークショップは欠かせない場となっています。そもそも「ワークショップ」とは、広辞苑によると 仕事場。作業場。 所定の課題についての事前研究の結果を持ち寄って討議を重ねる形の研修会。教員・社会教育指導者の研修や企業教育に採用されることが多い。と解説されています。英語では“work+shop”、つまり仕事場を意味する言葉で、「何かを創造する」「みんなで作る」という「参加型の学びの場」として確立されました。「参加」「体験」「交流」というキーワードが一体となった学習の場がワークショップなのです。

ワークショップは、アート系、まちづくり系、社会変革系、自然・環境系、教育・学習系、精神・世界系に分類され(中野民夫「ワークショップ」より)、様々なスタイルのワークショップが存在します。また、ワークショップを実際に進めるためには、全体のプログラムデザインが必要です。 コミュニティ・ビルディング(アイスブレイク)=関係構築、 グループング=グループ分け、 グループ・ビルディング=グループの共通基盤形成、 グループワーク=個人作業 共有作業 情報整理と合意形成、 シェアリング=全体共有、 プロセッシング=ふりかえり。さらに、ワークショップでは様々な演出ツールを用いる場合があります。CDプレーヤー、プロジェクター、ストップウォッチ、模造紙、付箋紙、マジックなどを効果的に使うとイメージの共有がうまくいきます。ワークショップに役立つ手法として、ブレン・ストーミングやロールプレイ、KJ法などがあります。最後に、ワークショップを進める人のことを「ファシリテーター」といいます。ファシリテーターは、参加者の中に起こる様々な場面を援助、促進する役割を持った人のことでワークショップには欠かせない存在です。いかがですか?ワークショップっておもしろいと思いませんか?

発行 〒518-0869 伊賀市上野中町2976番地1 上野ふれあいプラザ3階 伊賀び〜と編集委員会
 電話: 0595(21)5866 FAX: 0595(26)0002
 E-mail ue-vac@hanzou.or.jp ホームページ http://www.hanzou.or.jp/beat/

窓口=プラットホーム

- 伊賀市市民活動支援センター 〒518-1395 伊賀市馬場1128番地 多目的集会施設内
 電話: 0595(43)1135 FAX: 0595(43)2205 E-mail: igasksc@ict.ne.jp
- 名張市社会福祉協議会 〒518-0718 名張市丸之内79 名張市総合福祉センターふれあい
 電話: 0595(63)1111 FAX: 0595(64)3349 E-mail: n.furevc@nava21.ne.jp
- 伊賀市社会福祉協議会 〒518-0869 伊賀市上野中町2976-1 上野ふれあいプラザ3階
 上野支所 電話: 0595(21)5866 FAX: 0595(26)0002 E-mail: ue-vac@hanzou.or.jp
 伊賀支所 〒519-1413 伊賀市愛田513 いがまち保健福祉センター「愛の里」
 電話: 0595(45)1012 FAX: 0595(45)1050 E-mail: iga-vac@hanzou.or.jp
 島ヶ原支所 〒519-1711 伊賀市島ヶ原4743 島ヶ原老人福祉センター「清流」
 電話: 0595(59)3132 FAX: 0595(59)3145 E-mail: shima-vac@hanzou.or.jp
 阿山支所 〒518-1313 伊賀市馬場1128-1 阿山保健福祉センター
 電話: 0595(43)1854 FAX: 0595(43)1577 E-mail: aya-vac@hanzou.or.jp
 大山田支所 〒518-1422 伊賀市平田656-1 大山田福祉センター
 電話: 0595(47)0780 FAX: 0595(46)1165 E-mail: oo-vac@hanzou.or.jp
 青山支所 〒518-0226 伊賀市阿保1988-1 青山福祉センター
 電話: 0595(52)2999 FAX: 0595(52)3555 E-mail: ao-vac@hanzou.or.jp
- W.T.Aまちづくりセンター 〒518-0867 伊賀市上野福居町3317 E-mail: nagi_47_4_3@yahoo.co.jp
 電話: 0595(24)7612 FAX: 0595(22)0072 携帯mail: nagi-47.4.3@ezweb.ne.jp
- 暮らしの情報センター 〒518-0441 名張市夏見字下川原251-1 パークシティなばり2階「C.O.T café」
 電話: 0595(61)2355 FAX: 0595(61)2355 E-mail: cot@e-tuji.com
- 皇學館大学名張キャンパス 学生支援センター 〒518-0498 名張市春日丘7番町1番地
 電話: 0595(61)3351 FAX: 0595(61)3350 E-mail: gakusen@kogakkan-u.ac.jp